



▲移設された神苑手水鉢と奉納梅の木



▲北野天満宮奉納の寒紅梅・照水梅



▼整備された神苑の梅



天満宮 宮村宮

ふかし

深志神社社報 第18号

平成27年夏号

深志神社は信州松本城下
南深志の地四十八ヶ町
氏子の守り神さまです



梅鉢紋 天満宮御神紋



全国の神様・菅原道真公(天神様)をお祭りする神社は全国で約1万2千社鎮座されていますが、そのうち約1千百社で組織する「全国天満宮梅風会」(会長西高辻信良・太宰府天満宮宮司)の第49回総会が6月3日、当社梅風閣で開催されました。



全国天満宮梅風会 第49回総会開催

学問の神様・菅原道真公(天神様)をお祭りする神社は全国で約1万2千社鎮座されていますが、そのうち約1千百社で組織する「全国天満宮梅風会」(会長西高辻信良・太宰府天満宮宮司)の第49回総会が6月3日、当社梅風閣で開催されました。

これは、昨年7月斎行の当社天満宮御鎮座四百祭記念事業の一環として実施され、開催に当たっては本年4月に、深志神社の呼び掛けで結成された県内19社でつくる長野県支部(支部長・遠藤宮司)が主管しました。

全国各地から75社の神職や総代約160人が集い、交流を深めました。当日は拝殿での正式参拝の後、梅風閣で総会議事。太宰府天満宮宮司西高辻信良会長は「梅風会が心の支えとなり助け合う場となることを祈念する」と述べ、遠藤支部長も歓迎の言葉とともに「全国の皆さんとともに信仰と交流を深めていきたい」と伝えました。記念講演として窪田雅之松本市立博物館長の「松本城下町の繁栄・祈り・信仰―天神さま四百年―」が行なわれた後、記念撮影。その後、バスで移動し、松本城見学。夜は宿泊のホテル翔峰で懇親会が開催され、会員の絆を深めました。



この度の天満宮御鎮座四百年祭記念事業に御奉賛戴いた方々は、氏子町会で約1120件、特別崇敬者で約1900件、神社関係者(氏子総代・神社職員他)で約90件、計約14000件の多数に亘っております。そのうち五万円以上奉賛の方々318件並びに物品等奉納者の芳名刻銘板を制作し、5月25日に設置清祓式を斎行しました。場所は拝殿南側面です。改めて各位の御芳志に衷心よりお礼申しあげます。

天満宮御鎮座 四百年祭奉賛者 芳名板の設置

西参道脇に 石玉垣を新設

天満宮御鎮座四百年祭記念事業の一環として、このほど西正面参道南側の通路と駐車場との堺に石玉垣が設置され、5月25日に竣工清祓式を斎行しました。奉賛いただいた方々の芳名を掲げて御礼申しあげます。(東側から。なお、町会名「天満宮四百年記念」・芳名が刻銘されています。)



(本町四)・杉浦勝(常盤町)・青柳孝明(錦町)・服部喜璋(巾上中)・百瀬隆通(南源地)

なお全奉賛者の芳名簿は、本年九月九日の記念事業終了奉告祭に際して御本殿に納入されることとなっています。

【小柱】20本
遠藤久芳(安曇野市)・有限会社春日ビル(西五町)・春日恵美子(西五町)・春日尚孝(西五町)・百瀬武(東源池)・宮澤寧(東源池)・鹿川一夫(中町二)・浅田州宏(中町二)・武居郁江(巾上南)・武居雅明(巾上南)・分部浩志(博旁町)・杉山正久(博旁町)・朝倉信雄(清水東)・安保塗装株式会社(清水東)・小松娑孝(北源地)・加納靖公

【親柱】3本
中村欽哉、株式会社中徳(伊勢町二)・武居喜美雄(巾上南)・長崎俊夫(本町二)

【中柱】3本
関口隆男(小池町)・青山繁(清水西)・黒田英明(天神南小池町)

ふかし 深志神社社報 第18号

発行日 平成27年6月25日
発行所 深志神社社務所
〒390-0815
松本市深志3丁目7番43号
電話 0263-32-1214
FAX 0263-32-5908
http://www.fukashi-tenjin.or.jp

印刷 (株)日本広告

(4,000部)



深志神社の神さまが、年に一度、町内を巡られます。どうぞお迎えください。

平成27年度 深志神社例大祭(天神祭り) 御神幸式 神輿渡御巡路 A (車載) 天満宮神輿 7月25日(土) 午後2時~5時30分

自動車による神輿渡御巡路は西(鎌田)先回りと東(清水)先回りとが隔年となります。
本年は西(鎌田)先回りです。



お神輿をお迎えしましょう
◆ 一年に一度のご神幸では、氏子の平安をつねにお守りくださる氏神様が、氏子地域を巡り、皆様の生活をご覧になると共に、氏子の方々が神様を身近にお迎えし、感謝の祈りを捧げます。
◆ 中心市街地を巡られる元禄神輿は松深会の万燈神輿のあとに、また氏子全域を巡られる車載のお神輿は先触れの広報車を通して間もなく参りますので、家族そろってお迎え、おまいりください。家族の平安な姿こそ、神さまがもっともお喜びになります。

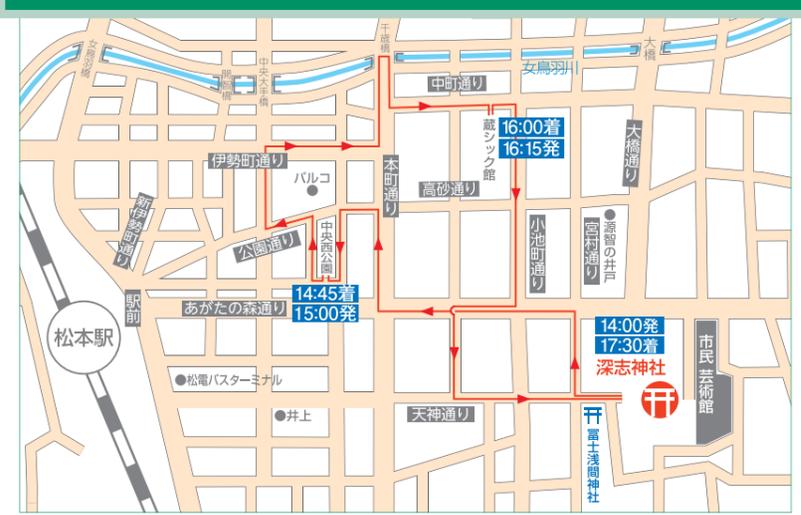
【お注連についてお願い】
町内に張られた注連縄を取り外すのはお神輿が通られた後としてください。

天神祭りのご神幸(25日)で、神輿をかつぐ方や威儀物神様をお守りする桶や鉾などをもつていただく方(神輿渡御奉仕員)を大募集!! 女性も歓迎。氏子や、その他どなたでもお祭りにご奉仕できる貴重な機会です。ご希望の方は神社までお申し込みください。



神輿かつぎを 奉仕しませんか?

元禄神輿渡御巡路 B 宮村宮神輿



信州松本松深会ほかの人たちの奉仕により、かつがれて渡御します。



【前夜祭】7月24日(金)
17:00~ 舞台曳き込み
17:00~19:00 日本舞踊奉納
19:00~ 前夜祭神事
20:00~ 奉納舞・詩吟・献舞

【例大祭】7月25日(土)
11:00~ 例大祭神事
13:00~ 穂高太鼓奉奏
14:00~17:30 御神輿御巡行
15:00~ お囃子スクール(演奏発表会)
15:30~ 舞台出発



もうすぐ天神祭りです

八坂祭でお子様の 健やかな成長をお祈りしましょう

7月14日(火)・15日(水)

八坂祭は、梅雨が明け夏を迎えるに際して病気除けや虫封じなど子どもの健やかな成長を祈る祭です。14日の宵祭には、五色の幟を奉納する多くの子どもたちで賑わい、あわせて家族で家内安全を祈る姿が見られます。

三百ほど前の元禄13(1700)年、松本地方に疫病が流行した時に、疫病除けの神として信仰を集めていた尾張の津島神社(天王社)から分霊をいただいて祀られました。

なお、五色の幟紙と霞はスーパー、八百屋 魚屋などや当社でも扱っています。

納奉 八坂大(明)神

○(生年) 年生 ○歳(女) 氏名

